

第 28 回近代柔道杯全国中学生柔道大会

【大会要項】

平成 27 年 2 月 18 日

公益財団法人 全日本柔道連盟
株式会社 ベースボール・マガジン社

1、大会趣旨

異なる地域の中学生との交流や多くの強豪選手との試合を通して、柔道を学ぶ生徒に夢を与え、逞しく生き抜く力を身に付けさせるとともに、競技力の向上と柔道界の普及、振興を目的とする

2、大会名称

第28回近代柔道杯全国中学生柔道大会

3、大会会場

さいたま市大宮武道館（埼玉県さいたま市見沼区堀崎町12-36）

TEL：048-687-1011

4、大会日程

平成27年3月27日（金）～平成27年3月29日（日）

5、主催

（公財）全日本柔道連盟、（株）ベースボール・マガジン社「近代柔道」

6、後援

（公財）講道館、（公財）日本中学校体育連盟

7、主管

埼玉県柔道連盟、（株）BBMスポーツ・コミッション

8、運営協力

埼玉県中学校体育連盟柔道部、さいたま市北柔道連盟、東京都中学校体育連盟柔道部、平成国際大学

9、スケジュール

【平成27年3月27日（金）】

13:30 監督会議（会場：第一練成道場 14:00 終了予定）

13:00 非公式計量（会場：主道場 14:00 終了予定）

14:00 公式計量（会場：主道場 15:30 終了予定）

【平成27年3月28日（土）】（予選リーグ）

08:45 選手集合

09:00 開館

10:15 審判会議（会場：会議室）

11:00 開会式（会場：主道場）

11:15 試合開始

【平成 27 年 3 月 29 日（日）】（決勝トーナメント）

08:45 選手集合

09:00 開館

10:15 審判会議（会場：会議室）

11:00 試合開始

15:00 閉会式・表彰式

10、参加資格

（1） 出場するチームは全日本柔道連盟に今年度の団体登録をしていること

（2） 選手は、競技者登録をしており、大会当日に同一中学校の 1、2 年生に在籍しているもの

※同一中学校からの複数チームの出場は認める。その場合は、チーム名の最後に順番にアルファベットを割り当てる（例；近代柔道中学校 A、近代柔道中学校 B）

※単一校でチームを編成できない場合は、合同チームで出場できる。ただし、同一市区町村内で 2 校の合同チームであること（合同チームの規定については別紙をご参照ください）

※外国人学校も出場も可能（海外チームの招聘については予定しておりませんが、自費での参加については可能です。海外チームの参加資格は主催者が協議のうえ決定する）

※参加資格の特例（全国中学校柔道大会と同様）

・学校教育法第 83 条の各種学校（1 条校以外）に在籍し、都道府県中学校体育連盟に参加を認められた生徒であること

・参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること

①全国大会の参加を認める条件

ア）（公財）日本中学校体育連盟の目的および長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること

イ）生徒の年齢および就業年限が、我国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること

ウ）参加を希望する学校にあたっては、運動部活が学校教育の一環として、日常継続的に当該校顧問教師の指導のもとに、適切に行われていること

②全国大会に参加した場合に守るべき条件

ア）全国大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等にしたがうとともに、大会の円滑な運営に協力すること

イ）全国大会参加に際しては、責任ある当該校校長または教員が生徒を引率すること、また、万一事故の発生に備え、傷害保険等に参加するなどして、万全の事故対策を立てておくこと

11、引率者

・引率者は、その学校の専任教員であること。また、学校長が認めた内部または外部コーチ 1 名を帯同させることができる

12、計量について

日時 3 月 27 日（金） 13:00～14:00 非公式計量 14:00～15:30 公式計量

会場 さいたま市大宮武道館 主道場

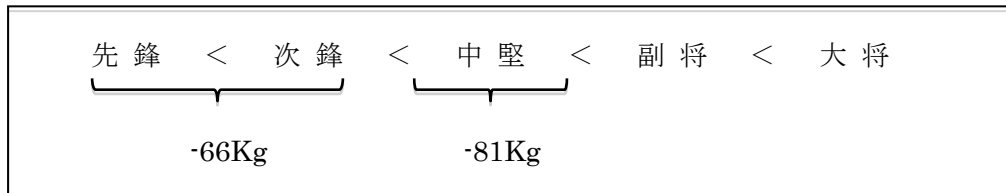
※公式計量は1回のみとして要件を満たさない場合は失格となります。いかなる理由においても大会当日の計量は行いませんのでご注意ください

※計量を終了したチームから集合写真撮影を行いますのでご協力ください

13、チーム編成

【オープンの部】

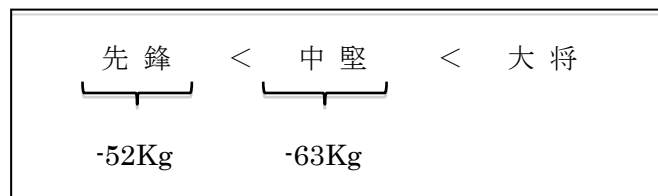
- ・チームは1校単位で編成したチームとする（ただし、1校でチームを編成できない場合は、同一市区町村、2校以内の合同チームで出場が可能／詳細は合同チーム出場規定をご参照ください）
- ・1チームの人員は監督1名、コーチ1名、選手8名（補欠3名を含む）とする。選手は最低3名必要
- ・出場順は、先鋒より体重の軽い選手とする（選手が5名に満たない場合は体重区分の範囲内で前詰めとなる）
- ・選手編成は、先鋒・次鋒=66kg以下、中堅=81kg以下、副将・大将=体重無差別当日の計量により体重区分をオーバーした選手は失格となる）



- ・女子選手の参加することを認めるが、その選手は女子の部との二重登録はできない

【女子の部】

- ・チームは1校単位で編成したチームとする（ただし、1校でチームを編成できない場合は、同一市区町村、2校以内の合同チームで出場が可能）
- ・1チームの人員は監督1名、コーチ1名、選手5名（補欠2名を含む）とする。選手は最低2名必要
- ・出場順は、先鋒より体重の軽い選手とする（選手が3名に満たない場合は体重区分の範囲内で前詰めとなる）
- ・選手編成は、先鋒=52kg以下、中堅=63kg以下、大将=体重無差別（当日の計量により体重区分をオーバーした選手は失格となる）



14、選手変更

- ・怪我や病気により大会申し込み締め切り後に登録選手を変更する場合は、学校長の印を付した選手変更届と医師の診断書を監督会議（27日（土）13:30開始）にて提出すること。これ以外の登録選手変更は認めない
- ・監督会議終了後の選手変更は、登録された補欠から行うこと

- ・試合が始まってからの選手変更についても、試合に出場する順番は体重の軽い選手からとする。また、その場合も、大会規定の体重区分であること
- ・一度退いた選手は、その後再出場できない
- ・複数チームで出場する学校において、出場登録したチーム間での選手の異動を伴う選手登録の変更は認めない

15、試合審判規定

- ・国際柔道連盟審判規定で行い、国際柔道連盟試合審判規定（2014年施行の新ルール）及び「少年大会申し合わせ事項」を適用する
- ・試合時間は3分間とする
- ・優勢勝ちの判定基準は、「有効」以上または「僅差（『指導』の差2以上）」とする
- ・優劣の成り立ちは以下の通りとする

「一本」 = 「反則勝ち」 > 「技あり」 > 「有効」 > 「僅差」

16、試合方法

- ・試合は1チーム5名（女子は3名）の点取り戦とする
- ・3または4チームずつに分け、リーグ戦を行い、各組1位のチームによって決勝トーナメント戦を行う

【予選リーグにおけるチーム間の勝敗の決定方法】

- ア) チーム間における勝ち数による
- イ) ア) において同等の時は、勝ちの内容によって決定する
- ウ) イ) において同等の時は、引き分けとする

【予選リーグ内の順位決定方法】

- ア) チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による
- イ) ア) において同等の時は、勝ち数の合計による
- ウ) イ) において同等の時は、勝ちの内容により決定する
- エ) ウ) において同等の時は、負け数の合計により決定する
- オ) エ) において同等の時は、負けの内容により決定する
- カ) オ) において同等の時は、代表選手を自由に選出して代表戦を行い、優勢勝ちの判定基準は「有効」または「指導1」以上とする。代表戦は3分間の本戦を行い、得点差が無い場合は時間無制限のゴールデンスコア方式の延長戦によって決定する
- キ) カ) において同等の時は、抽選により決勝トーナメント戦への出場校を決定する

【決勝トーナメントの勝敗の決定方法】

- ア) チーム間における勝ち数の数による
- イ) ア) において同等の時は、勝ちの内容によって決定する
- ウ) イ) において同等の時は、引き分け対戦の中から抽選で選んだ対戦による時間無制限のゴールデンスコア方式の代表戦によって決定する

17、柔道衣について

- ・(公財) 全日本柔道連盟公認の柔道衣、帯を着用すること
- ・(公財) 講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。女子の黒帯は白線入りのものを使用する
- ・ゼッケン縫付け場所は後ろ襟から概ね 5~10cm 下部に位置する場所に縫付ける。対角線にも強い糸で縫付ける
- ・ゼッケンを縫付けていない選手は出場出来ない

18、表彰

- ・優勝チームには近代柔道杯、賞状、メダル(全員)を授与する
- ・2位~3位チーム(2チーム)には、カップ、賞状、メダル(全員)を授与する
- ・オープンの部 10名、女子の部 6名は、優秀選手としてトロフィーを授与する
- ・オープンの部、女子の部で最も一本勝ちの多い選手各1名を一本勝ち大賞としてトロフィーを授与する。準決勝に進出した8チーム(女子は準決勝に進出した選手を対象とする。)の選手の中から選考するものとし、試合は予選リーグ第1回戦から最終試合までの全試合を対象とする。また、一本勝ちの数が同数の場合は次の順によって決定する
 - (ア) 一本勝ちが同数の場合は、一本勝ち率によって決定する
 - (イ) 一本勝ち率が同等の場合は、内容によって決定する
 - (ウ) 内容も同等の場合は、同時受賞とする

19、その他

- (1) 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、医療機関において、迅速かつ的確な治療を行うこと。もし、皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、本大会への出場ができない場合もある
- (2) 新型インフルエンザに集団感染(2名以上)したチームは、他チームへの影響を考慮した対応をすること
- (3) 脳震盪対応について選手及び指導者は下記事項を遵守すること
 - ①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする(なお、至急専門医の精査をうけること)
 - ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること
 - ④上記に該当する選手がいた場合、指導者は大会事務局に書面により事故報告書を提出すること

20、参加費

- 男子の部：1チーム 14,040円
女子の部：1チーム 10,800円

郵便振替にてご記入金下さい(口座名:株式会社BBM スポーツ・コミッション/口座番号 00160-8-99893)

2月9日(月)締切

21、申込方法

・近代柔道1月号(12月22日発売)、2月号(1月22日発売)についている参加申込用紙に必要な事項を記入、学校長の捺印のうえ、FAX(03-3238-0324)にて大会事務局へお申し込みください(ベースボール・マガジン社のスポーツ総合サイト「スポーツクリック」内の「柔道」のページ

(<http://www.sportsclick.jp/judo/>)より大会要項を確認のうえ、申し込むこと。2月9日(月)締切)

・参加申込用紙を事務局に提出後、「スポーツクリック」の「柔道」のページ

(<http://www.sportsclick.jp/judo/>)より、エクセルファイルの出場選手登録用紙をダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、大会事務局までE-mail(kinjyuhai@bbm-japan.com)にてお送りください(締切:2月9日(火))

22、個人情報、肖像権の取り扱いについて

・参加申込用紙、出場登録用紙に記載された個人情報は、大会プログラム、大会ホームページ、近代柔道に記載される場合があります。また、その他の報道機関等により、新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合があります

・本大会において撮影された写真が、大会プログラム、大会ホームページ、近代柔道に掲載される場合があります。また、その他の報道機関等により新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合があります

・取得した個人情報については、上記の利用目的以外に使用することはありません

・参加申込書、出場登録用紙の提出により、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応をさせていただきます

23、問合せ先

(株)ベースボール・マガジン社 事業部内 近代柔道杯事務局

担当:森田、西関、伊藤 TEL:03-3238-0370 FAX:03-3238-0324

〒101-8381 東京都千代田区三崎町 3-10-10